

共に手を握つて邁進すべきだ。

○國際國內情勢に直面して労働者農民の覺悟

全農全國會議全國委員長 上 田 晉 市

百年前フランスのミレーが描ける晩鐘の名畫は如何に農民の幸福を表して居る事か、現在それに比していくら働いても生活は向上せず人間らしき祈りも出来ぬ、ミレーの名畫も吾々には三文の値打もなくなつた。吾々は國內的に、國際的に、政治的に、經濟的に如何なる情勢にあるや、一九二七、二八年頃に經濟學者の稱へた景氣は一向に來らず却つて多くの失業者が續出した、米國に於て一千萬我國に於ても三百五十萬の失業者があつて喰うに食へざるに反し、南米に於てはコーヒの値を上げる爲め過剰コーヒを捨て、或は米國に於てはコーヒの値を上げる爲に多くの小麥を灰にして吾々の生活を益々窮乏させて居る、我國に於ても三百五十萬の失業者が在

るのにも不拘政府貯藏米四百五十萬石は鼠に られて居る、その貯藏米三百萬石を無償で滿洲國に……中止

○第十一回水平社大會の階級的意義

全水常任委員 奥野利喜藏

忠臣蔵の大石良雄は一時は不忠不義と罵られても最後で大忠臣となつた、ローマの天道説を覆へし地球説を稱へた老化學者リレオはローマ權力からあらゆる壓迫を加へられたが歴史は自分の地球説を覆すものに非らずと言つた、吾々の運動もいくら彈壓されても落ちつく處に落ちつくと言ふことである。

吾々は差別待遇の表面に向つて闘争したるが故に吾々の運動が衰頽した、第七回大會以後は支配階級の手先となる政治的經濟的に自主的解放運動に邁進せねばならぬと云ふことであつた。吾々が無産者と共に運動を進めて來た爲に、あらゆる